

2024.6
Vol.127

にいだがわつうしん
新田川通信

発行元：(有)佐藤建業

南相馬市原町区北新田字広田170

Tel：(0244) 22-7619

Mail：info@sato-kengyo.jp

https://www.sato-kengyo.jp



今 新田川では 門前橋(もんぜんばし)



↑黄色い花を咲かせる
待宵草(まつよいくさ)
初夏から晩夏の夕暮れに咲く
夏の風物詩。70cm位に伸びていました。
「月見草」と呼ばれることも。

ここは北新田を二分する新田川に
架かり、唯一南北北新田を結ぶ門前橋
です。震災前は、夏に鮎釣りの太公望
たちや、秋には芋煮会でにぎわって
いました。かつて50cm超くらいの
ウナギを獲ってきたことがありました。
(おいしかった…!!!)
この日は、5月半ばの初夏を思わせる
陽気で、あたりの深緑がまぶしかったです。



「門前橋」とは、なんと意味深い名前だろう…と
本誌45号に取り上げましたが、謎が解けました！
昔、橋の少し北に由緒正しきお寺があったそうです。
お寺の門の前にあった専用橋だったため「門前橋」
と呼ばれていたそうです。そのお寺は1828年に焼失
して移転し、その後、橋も何度か架け替えられ、
現在の姿になりました。
教えて頂いた方、ありがとうございました！

大工さん 今日はどうなお仕事？



▲今回はH様邸の新築工事です！
足場がかかっていますが、外装はほとんど出来上がっており、現在は内装を
進めています。今後、屋根にはソーラーパネルを取り付ける予定です。



▲5月末段階での内装の様子。木の下地までほぼ
終わって、石膏ボードが積まれています。
ここから天井、壁、床を貼っていくところです。
もちろん、しっかりと断熱材を入れていきます。
キッチン、トイレ、浴室などが設置されるのは
もう少し先です(ω)

屋根の訪問営業に注意！

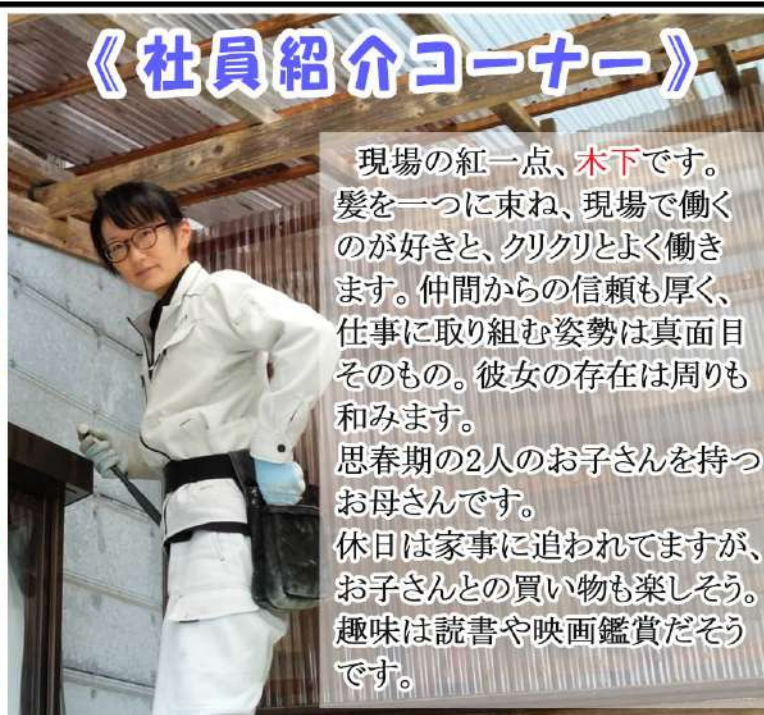
最近、南相馬市や相馬市で、屋根の
訪問営業の業者が回っているようです。
「屋根のどこそこが壊れている」
と言って訪問し、屋根に上り、
修理の提案をするようです。
その際に、壊れていない所を壊して
「修理が必要だ」と言うてくる事例も
あるようなので、そのような訪問が
あっても屋根に上らせないでください。
佐藤建業でも屋根の確認ができますので
ご心配でしたら☎0244-22-7619まで
お電話を頂ければ確認にお伺いします。

**新田川通信の
封筒について**



前月号が届いた時に
「この封筒は…!？」と
驚かれたと思います。
事務効率のための
試行錯誤の結果です。
今しばらくこの長い封筒
とおつきあい下さいませ。

《社員紹介コーナー》



現場の紅一点、木下です。
髪を一つに束ね、現場で働く
のが好きと、ククリとよく働か
ます。仲間からの信頼も厚く、
仕事に取り組む姿勢は真面目
そのもの。彼女の存在は周りも
和みます。
思春期の2人のお子さんを持つ
お母さんです。
休日は家事に追われていますが、
お子さんとの買い物も楽しそう。
趣味は読書や映画鑑賞だそう
です。

《大工さんのアイテム》 重機 (バックホウ)

数ある重機の中でも、今回は『バックホウ』『ユンボ』『油圧ショベル』などと呼ばれる建設機械の紹介です。主に外構工事で土や砂利などを掘削したり、敷均したりするために使います。土木工事では現場が広いので、大きな機械が動いていますが、大工さんは右の写真のような小さな重機でお仕事をします。前方に出たアームの先端にバケット（バケツ）と呼ばれるアタッチメントがついているのが一般的なバックホウ。解体工事では、物をつかむフォーク（はさみ）やコンクリートを破碎するブレーカーをつけて作業をします。他にも杭打機や草刈り機をつけたりと、用途は様々。お子さんたちにも人気があり、幼稚園や小学校の工事で掘削作業をしていると、重機に寄ってきてしまうので、バリケードが必須です(；^ω^)

事故のないように、安全第一で作業をしましょう！！



～夏の暑さ対策～

今年も猛暑がやって来そう(；^v^)
少しでも暑さを和らげるご提案です

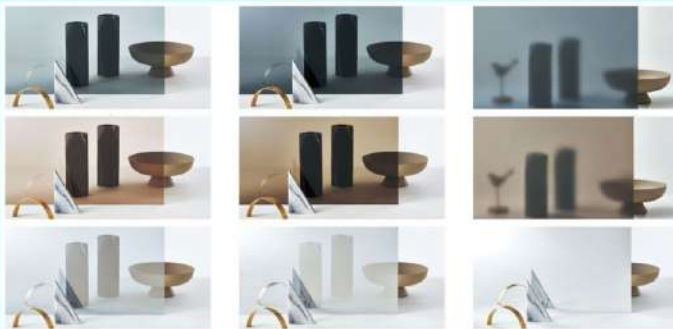


☞ 多機能ルーバー

窓サッシの外側に取り付けて夏の日差しや西日を遮ります。ダイヤルでルーバー角度を調整できるタイプなら、光を取り込むことも可能です。

☞ 遮熱ガラスフィルム

窓ガラスの内側に貼付けて曇りガラスにしたり、すりガラスにするフィルム。遮熱のフィルムなら日差しの熱さを和らげますし、お家の中が外から見えにくくなる効果も。



エアコンが必須な昨今…電気代を抑えるためには、お家を涼しく保つ工夫が必要です。夏は窓から70%以上も熱さが流入します。(高断熱のお家でも50%ほど)いかに窓から直射日光を回避するかが大事です。タープの取り付けや、外付けのブラインドも効果的。ご参考までに(*^▽^)

売地 鹿島区 寺内



価格：499万2千円/坪単価5万円
面積：330.05㎡ (99.84坪)

所在：南相馬市鹿島区寺内字横峯

土地：[権利]所有権 [私道負担]無 [地目]宅地

[接道路]私道/幅員南東側約6.05m [舗装]有

制限：[用途地域]指定なし

[建ぺい率]60% [容積率]200% [都市計画]未線引

[防火地域]指定なし [その他]建築基準法22条

施設：[ガス]LP (個別) [水道]公営 [雑排水・污水]本下水

引渡：[現況]更地/即可

備考：受益者負担金。建築条件付き。

※詳しくは佐藤建業まで！ ☎0244-22-7619

June bride ジュンブライド



【説その①】

ギリシャ神話に登場する主神ゼウスの妃で、結婚や出産を司る女神「Juno (ジュノ)」が守護する月が6月 (June) であることから、この月に結婚をすると生涯幸せに暮らせると言われた。

【説その②】

かつてヨーロッパでは、農作業の妨げとなることから3月～5月の結婚が禁じられていました。そのため、解禁となる6月に結婚式を挙げるカップルが多く、祝福ムードだったとのこと。

【説その③】

ヨーロッパには梅雨がなく、6月は平均気温が20℃前後。湿気も少なく過ごしやすい天候なので結婚式には最適。さらに、緯度が高いので日没は22時近くと長い地域も。天気・気候とも良く、開放的ムードによって多くの人に祝福されます。

June bride とは、古くからヨーロッパで

「6月に結婚する花嫁は幸せになれる」とされる言い伝えのこと。その意味や由来についてご存じでしょうか？ (諸説あります)

■6月のシンボルフラワーは『紫陽花』『ライラック』。紫陽花は結婚式でも人気の高い花で、小花が集まっている姿から「家族団らん」「友情」「仲良し」という意味の花言葉を持ちます。紫陽花と同様、6月に旬を迎え、ナチュラルな雰囲気と優しい香りが人気のライラック。紫色は「恋の芽生え」、白色は「青春の喜び」「無邪気」という花言葉を持ち、ハートの形をした葉っぱも可愛いですね。



6月を代表する花

◀紫陽花 (あじさい)

ライラック▶



■日本に広まった理由

日本の6月は梅雨時期で結婚式には不向きなので、1960年代からブライダル業界がジュンブライドをアピールして定着しました。気候的には雨の少ない10～11月頃がオススメで、ジュンブライドの次に結婚式が多いのが11月です。